

# 個人情報に関わる人権侵害の防止対策

## 誹謗中傷は命さえ奪う

### プライバシー情報の暴露拡散は重大な人権侵害

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

# つなぐ

発行  
しんばる善信後援会  
小郡市小郡1304-2  
0942-73-2123



インターネット、SNSの急速な拡大で誰もが自由に情報発信できるようになりました。ただその中には他人のプライバシーや不確かな情報を不特定多数に拡散することで重大な人権侵害を侵すものが多数あります。これにより傷つき自ら命を絶つ悲劇が全国で起きています。しんばる議員は、インターネット上だけでなくビラやうわさなどでの誹謗中傷によって人権侵害を起こさないようにするため教育啓発にどう取り組むのか質問しました。

### 兵庫県議会関係では2人が自死

兵庫県知事のパワハラ疑惑に関連して、告発した元職員と県議会の百条委員会委員だった元議員の2名がプライバシーの暴露やネット上などでの執拗な誹謗中傷に耐えかねて自死しました。

### プライバシーは基本的人権

プライバシーとは個人の

家庭内の事情や秘密にしたことが他人から干渉・侵害を受けない権利です。憲法13条「個人の尊重」や「個人情報保護法」で犯してはならないと定められています。

### 刑法で罰せられることも

もしプライバシーに関わる個人情報等をうわさや文書、インターネット等で流布し、特定の個人の社会的評価を低下させたり、精神的苦痛を与えたりしたときには、

刑法の名誉毀損罪及び侮辱罪で訴えられることもあり得ます。しかし近年、特にインターネットやSNSの普及によって、個人や集団等を誹謗中傷する表現や差別を助長する人権侵害が後を絶たず、最悪の場合、死に至らしめる事例も発生し社会問題化しています。

### 小郡市は防止条例制定

市は、令和5年にインターネット上の人権侵害の防止等に関する条例を制定しています。この条例では、①人権意識の教育啓発、②インターネットを正しく活用する能力の向上、③相談支援体制の整備を行うことになっていきます。

### ネット情報から子どもたちを守る

学校ではタブレットの導入で子どもたちのネット情報に接する機会が増え、インターネットによる様々なトラブルや被害も報告され

ています。情報のやり取りの中でだれかを傷つけたり自分自身が被害にあつたりしないためのスキルを身に着ける必要があります。

### 合言葉はソ・ウ・カ・ナ

- 「ソ」…即断せず決めつけない
- 「ウ」…うのみにせず確かめる
- 「カ」…かたよらない
- 「ナ」…中だけでなく隠れているものを見る

これは、小学校でネット情報についての指導を行っている下村健一氏のことばです。

### 基本は互いの人権の尊重

ネットに書き込みをするとき、反対に受け取るとき、向こうには自分と同じ人がいて互いに人権を守らなければならぬことを常に意識することが指導の基本です。

# プラスチックごみ分別回収、実証実験

## プラスチックごみ、環境破壊危機

### 日本のプラスチックごみ廃棄量、世界第2位

買った物をするると商品の多くはビニール包装で、ごみ箱にはいくつもの袋やラップが捨てられます。これらはプラスチックごみといわれ、今、世界中で環境や人体に悪い影響を与える物として減らしたり再資源化したりする対策が進められています。しんばる議員は、小郡市も分別回収を早く実施し、プラスチックごみを減らすよう求めました。

#### 海洋プラスチック、魚より多くなる



日本ではプラスチック製品が大量に生産され、廃棄量はアメリカに次ぎ世界第2位です。このプラスチックごみは自然に分解されないで、細かいマイクロプラスチックや海洋プラスチックとなつて地球の生態系に重大なダメージを与えています。特に海洋プラスチック

クの量は、2050年には魚の量を上回るといわれ、魚を通して人体にも悪影響を与えています。

#### 小郡市のごみの22%がプラスチックごみ



市が行った家庭から出るごみの組成分析では、可燃ごみの22.4%、不燃ごみの29.39%がプラスチックごみで高い割合を占めています。

#### 国、県も動き出した

令和4年、国はプラスチック資源循環促進法を制定、県は福岡プラスチック資源循環ネットワークを設置してプラスチックごみの減量に取り組んでいます。

#### 小郡市、分別回収実証実験、結果は良好

小郡市は、昨年11月に大原区と美鈴の社区でプラスチックごみの分別回収実証実験を行いました。集めたごみは市内の業者が圧縮梱包し熊本の工場で再資源化されました。集めたごみのうち約91%が再資源化され、分別回収の流れに特段問題ないことがわかりました。

#### 市民の協力が不可欠

一番の課題は、市民の分別回収への意識を高めるために一層の周知啓発を行うことです。また、ごみ収集車の新たな配備計画などが必要で

#### 今年度は実証実験の規模拡大

市は今年度、実証実験の対象地区を拡大します。その結果を本格実施に向けた計画づくりに生かし、速やかに実施していきたいと思っています。

#### 使わない、捨てない

プラスチックごみを減らすには使わないことが一番です。しかし、買い物に行けばどうしてもプラスチック包装のものを買わざるをえません。これは販売する側の努力を待つしかありません。今、私たち市民にできることは、マイバッグやマイボトルを使い、ペットボトルやトレイはリサイクルに出すことです。そして、プラスチックの過剰包装の物は避け、不要なプラスチック商品は買わないことです。将来の地球環境と子や孫の健康を守るために、一人ひとりの小さな努力が求められます。

# だれもが、おびえることなく快適に働けるように 市長等、職員及び議員のハラスメント防止条例できる

## パワハラ、セクハラ、誹謗中傷等をなくす

最近、県内外の自治体で市長や管理職、議員による職員へのパワハラ、セクハラのニュースが続きました。その多くは、職務上の優越的立場を背景にして相手の人格や尊厳を傷つけるものです。これにより職員は安心して職務を続けることができなくなり体調を壊し休職に追い込まれる者も少なくありません。小郡市は、昨年度このようなハラスメントが起きないようにすることを目的に検討委員会を設け今議会でハラスメントを防止する条例が制定されました。

### フジテレビの問題を 教訓に

この数か月、フジテレビのセクハラ問題が世間の注目を集めてきました。男性中心の経営で女性の人権が軽んじられてきたことや問題が発生した際の対応がずさんだったことが批判されています。人権に関する報道を行う大手メディアとしてあるまじきことです。しかし、私たちは、自らの中に同じような体質がないか今一度問い直さなければなりません。

### 上司には部下を育て、 守る責任がある

「そんなこともできないの

### 優越的立場の市長等や 職員及び議員が対象

か、能無し」と侮辱されたり周りに人がいるのに大声で怒鳴りつけられたりしてやる気や自信をなくす職員がいます。これはやられた者にとっても大きな損失です。本来上司の役割は部下を育て結果については責任を引き受けることです。上に立つ者はそのことをしっかりと自覚しなければなりません。

条例では、特に職務上優越的立場にある市長、副市長、教育長、管理職を含む職員、市議会議員に対して、ハラスメントを理解し、人権を尊重し、快適に働く良

好な勤務環境を確立するよう求めています。

### 第三者相談窓口を設置

もし、ハラスメントが起きた場合、身内の職員での調査では客観性が保たれません。そこで条例では、外部の弁護士などを含む第三者相談窓口を設置し、調査することになっています。

### 加害者の氏名公表

調査によってハラスメントが認められたら、市長等および議員は氏名を公表し、職員は懲戒処分を行うこととされています。

### 最重要は被害者の保護

被害者が申し出たことにより、かえっていじめられたり不利益な扱いをされたりすることがあってはなりません。調査にあたっては、被害者の意思を尊重し、慎重に問題の解決にあたることが重要です。

### 議会も「ハラスメント等防止に関する指針」を策定

議会はハラスメント対策特別委員会（しんばる委員長）を設置し、ハラスメント等防止のための指針を検討してきました。市の条例制定に合わせ、議会も独自に、ハラスメントを起さないためにどうするべきか様々な角度から検討を重ね指針を制定しました。

### 議長と議員の責務

特に議長の責務は大きく、議員も本人だけでなく周りでハラスメントがあれば指摘し解決するように努めるとしています。何より意識向上によりハラスメントを起さないことが重要です。

### プライバシーの保護

関係者のプライバシーに配慮し、退職後も情報を漏らしてはならないこととしています。

### この1さつ



少年と犬

聴星周 著

話は薄汚れて瘦せた迷い犬との出会いから始まります。東日本大震災の後、職を転々とし窃盗団の運転手のバイトで食いつなぐ日々。犬との出会いはすさんだ心に灯りをともし、まっとうな仕事を探そうと決めた矢

先、逃亡中の事故で命を落とします。犬は、再び南に向かいます。旅の途中、挫折や苦悩を抱えた人たちに寄り添い一抹の光をともし不思議な犬。最後にたどり着いたのは熊本。そこには震災で家を失い新たに農業

を始めた夫婦と少年がいまいた。犬は、津波以来ことばを失った少年のそばを離れず少年を見守るかのよう。やがて、意外な事実が明らかになります。犬と出会う人たちの様々な人生がいとおしくなる物語です。

## 財政は大丈夫か 三つの大型施設建設 体育館、消防署、給食センター

### 建設費合わせて97億円

老朽化した体育館、消防署、給食センターの建て替えが始まります。このところの資材と人件費の値上がりで大幅に建設費が高くなりました。見積もりでは合わせて97億円といいますが今後さらに増えないか心配です。

### ローンで毎年2〜3億円の支払い

建設費のうち国の補助金などの活用で小郡市の手出し分は毎年2〜3億円を20〜25年ローンで払うというので一応安心しました。

2011年3月11日の東日本大震災を忘れないために  
毎月11日 西鉄久留米駅前街頭演説

## 福島原発廃炉問題、物価高対策と消費税減税など訴え



4月11日、しんばる議員は西鉄久留米駅前福島原発問題などについて演説を行いました。震災から14年目、880トンの溶融デブリのうち取り出せたのは、わずか0.7グラム。すでに23兆円もかかっています。それなのに原発を推進する国の方針は、間違っていると批判しました。

### 反省だけなら議員でも

### 反省だけなら議員でも

15年前、議会はもつと議論を活発に行い市民のくらしをよくする活動をしなければと議会基本条例を作りました。その後、毎年度末1年を振り返って、できたこと足りないところをみんなでも出し合い検証してきました。ところが、その検証が次の年の改善にだんだんつながらなくなり、同じ反省がまた次の年も上がってくるが多くなりました。組織につきものの形骸化です。改善にはそれなりのエネルギーが必要ですが、現在の状況は何とかしなければならぬと多くの議員が感じています。一番大きな課題は、政策論議と政策提言の活性化です。私自身、努力の足りなさを痛感し市民に申し訳なく思っています。サルから「反省だけなら議員でもできる」と言われないように。(よし)